

20 古典の知識

プリンター

国語のワーク3・4年生

後の□にある季語をなかま分けしましょう。

〔春の季語〕

陽炎 花 卒業 潮干狩り 梅  
たんぽぽ うぐいす

〔夏の季語〕

蛙 卯の花 山びらき 紫陽花  
ほたる たけのこ 夕立 つばめ 五月雨

蛙 かえる 陽炎 かげろう 卯の花 う はな 山びらき やま 紫陽花 あじさい

たけのこ ゆうだち 夕立 はな つばめ そつぎよう うぐいす  
五月雨 さみだれ 潮干狩り しおひが 梅 うめ たんぽぽ ほたる

20 古典の知識

プリンター

国語のワーク3・4年生

後の□にある季語をなかま分けしましょう。本格的歳時記では「新年」は一つの季節としてあつかいますが、小学生では冬に入れます。

〔秋の季語〕

名月 身にしむ もも 稻かり とんぼ  
天の川 野分

〔冬の季語〕

小春日和 枯野 時雨 こたつ 白鳥  
雪だるま 初詣 ねぎ 師走

名月	めいげつ	こはるびより	小春日和	身にしむ	み	かれの	枯野
時雨	しぐれ	はくちよう	白鳥	もも	ゆき	はつもうで	初詣
稲走	いね	あま	天の川	野分	のわき		
稲かり	いね	がわ	野分				
とんぼ	とんぼ						
ねぎ	ねぎ						
師走	しわす						

20 古典の知識

プリント3

国語のワーク3・4年生

次の和歌は、春の七草と秋の七草をよんだものです。音読・なぞり書きをして、できれば覚えてみましょう。

読み人しらず  
 せり なずな ごぎよう はこべら ほとけのざ  
 すずな すずしろ これぞ七草

やまのうえのおくら  
 山上憶良

はぎ はな おばな くずはな なでしこ はな  
 萩の花 尾花 葛花 撫子の花  
 おみなえし  
 女郎花 また藤袴 朝顔の花  
 ふじばかま あさがお はな

読み人しらず  
 せりなずな ごぎようはこべら ほとけのざ  
 すずなすずしろ これぞ七草

山上憶良

萩の花 尾花葛花 撫子の花  
 女郎花 また藤袴 朝顔の花

20 古典の知識

プリント4

国語のワーク3・4年生

昔の月の言い方を一月から十二月までじゅんにならべました。それぞれの月の言い方に当てはまる「由来」を次のページから選んで書きましよう。

- |   |                             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|-----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 睦月<br><small>むつき</small>    | （ | 年 | の | 始 | め | に | 親 | 戚 | が | 集 | ま | っ | て | 睦 | み | 合 | う | 月 | ） |   |   |
| ② | 如月<br><small>ごとげつき</small>  | （ | 衣 | 更 | 着 | 、 | ま | だ | ま | だ | 寒 | い | の | で | 衣 | を | 更 | に | 着 | る | ） |   |
| ③ | 弥生<br><small>やよい</small>    | （ | 草 | 木 | が | 弥 | 生 | い | 茂 | る | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ④ | 卯月<br><small>うづき</small>    | （ | 卯 | の | 花 | が | 咲 | く | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑤ | 皐月<br><small>さつき</small>    | （ | 早 | 苗 | を | 植 | え | る | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑥ | 水無月<br><small>みなづき</small>  | （ | 田 | に | 水 | を | 入 | れ | る | 月 | 、 | 水 | の | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑦ | 文月<br><small>ふみづき</small>   | （ | 七 | 夕 | に | 書 | 道 | の | 上 | 達 | を | 祈 | っ | て | お | 願 | い | を | 書 | く | 月 | ） |
| ⑧ | 葉月<br><small>はづき</small>    | （ | 木 | の | 葉 | が | 落 | ち | は | じ | め | る | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑨ | 長月<br><small>ながつき</small>   | （ | 秋 | の | 夜 | 長 | の | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑩ | 神無月<br><small>かんなづき</small> | （ | 神 | の | 月 | 、 | 全 | 国 | の | 神 | 様 | が | 出 | 雲 | 大 | 社 | に | 集 | ま | る | ） |   |
| ⑪ | 霜月<br><small>しもつき</small>   | （ | 霜 | が | 降 | り | 始 | め | る | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| ⑫ | 師走<br><small>しわす</small>    | （ | 師 | （ | お | 坊 | さ | ん | ） | が | 走 | り | 回 | る | 月 | ） |   |   |   |   |   |   |

読み方

由来

月の読み方の由来

- 衣更着、きさらぎ まだまだ寒いので衣ころもを更さらに着きる月。
- 神しんの月。全国いずもの神様たいしやが出雲大社いづもたいしやに集まる月。
- 霜しもが降おり始める月。
- 草木くさきが弥ますます生おい茂しげる月。
- 木この葉はが落ちはじめる月。
- 年としの始めはじに親戚しんせきが集まって睦むつみ合あう月。
- 秋あきの夜長よながの月。
- 師し（お坊ぼうさん）が走り回まわる月。
- 卯うの花はなが咲さく月。
- 早苗さなえを植うえる月。
- 田たなに水みづを入れる月。水みづの月。
- 七夕たなばたに書道しょどうの上達じょうたつを祈いのってお願ねがいを書かく月。